

平成28年度決算を認定

一般会計

歳入 **66億5,901万円**
(対前年度比3,091万円、0.5%の増)

歳出 **61億9,964万円**
(対前年度比▲2,670万円、0.4%の減)

主な事業

<p>〈総務費〉</p> <p>役場新庁舎整備 4億940万円</p> <p>証明書コンビニ交付システム構築 2,400万円</p> <p>〈民生費〉</p> <p>児童手当給付 2億7,487万円</p> <p>東原児童館新築工事 1億4,580万円</p> <p>〈衛生費〉</p> <p>一般廃棄物処理業務委託 8,658万円</p> <p>新クリーンセンター整備 7,891万円</p> <p>〈農林水産業費〉</p> <p>農山漁村活性化プロジェクト 1,964万円</p> <p>支援交付金事業 875万円</p> <p>経営体育成支援事業補助金</p>	<p>〈商工費〉</p> <p>工業振興奨励補助金 2,693万円</p> <p>龍神まつり補助金 650万円</p> <p>〈土木費〉</p> <p>社会資本整備総合交付金事業 4,314万円</p> <p>都市再生整備計画事業 (道路改良) 1億6,278万円</p> <p>〈消防費〉</p> <p>消防施設整備 (防寒ブルゾン購入) 243万円</p> <p>〈教育費〉</p> <p>御代田南小学校施設改良工事 522万円</p> <p>御代田北小学校施設改良工事 175万円</p> <p>図書館図書購入 624万円</p>
---	--

特別会計

歳入 **41億1,950万円**
(対前年度比8,412万円、2.1%の増)

歳出 **37億5,047万円**
(対前年度比1,176万円、0.3%の増)

会計名	歳入	歳出	差引
御代田財産区	1,379万円	1,308万円	71万円
小沼地区財産管理	356万円	315万円	41万円
国民健康保険	21億4,637万円	18億5,024万円	29,613万円
介護保険事業	10億4,277万円	9億7,357万円	6,920万円
後期高齢者医療	1億4,021万円	1億3,986万円	35万円
住宅新築資金等貸付事業	563万円	563万円	0万円
公共下水道事業	7億2,913万円	7億2,736万円	177万円
農業集落排水事業	2,712万円	2,677万円	35万円
個別排水処理施設整備事業	1,092万円	1,081万円	11万円

※端数処理の切り捨てにより、実質収支額が一致しない場合があります。

企業会計

御代田小沼水道事業会計	収益	収入	1億9,363万円
		支出	1億8,018万円
	資本	収入	1,530万円
		支出	4,426万円

平成29年 第3回 定例会

9月定例会は9月21日に招集され、10月6日までの16日間の会期で開催された。専決処分事項の報告1件、事件案1件、条例案4件、決算認定11件、予算案6件、報告1件で、町側から提出された議案22件を原案どおり承認・同意・可決した。また発議1件を可決した。

質疑

条例改正
Q 18歳まで医療費の無料化が拡大されるが窓口無料化も18歳までか。
A 18歳まで行う。

28年度決算
Q 不納欠損額385万9千円の固定資産税の内容は。
A 督促状、催告書の発送、財産調査など滞納処分の手続きを経た上で、不納欠損の執行に当たっては十分な調査と慎重な判断に基づき実施している。

金額の内訳は、廃業解散補充分が40%、執行停止中の時効が38%、相続人不存在が22%である。

削減効果
A 高圧電気契約の7施設合計の使用電気量は増加している。しかし、電気料金は522万円減少し、新電力業務委託料124万円を引くと398万円の削減効果があった。

新電力に切りかえたことによる電気料の削減効果
A 平成20年より可燃ごみが増加傾向にあり要因の一つは人口増加である。また、庭の草などの排出が多くなったことや老人施設の紙おむつの普及など、社会情勢による様々な要因が複合的に作用している。

一般廃棄物委託料
Q 8千657万円で前年より増加している。その要因は。
A 19人以下の未満児保育園を宅老所のぞみが丘が使用していた建物を借用して、平成30年

29年度補正予算
Q 小規模保育所改修事業費補助金220万円の内容は。
A 19人以下の未満児保育園を宅老所のぞみが丘が使用していた建物を借用して、平成30年

に事業を開始したい申し出があった。子供用のトイレや厨房などの改修に国と町が二分の一ずつ負担する。

また、経年劣化が激しい北側のネットフェンスの改修工事をする。



来春開設予定の小規模保育園



上ノ林霊園の土手

上ノ林霊園改修工事
Q 859万7千円の工事内容は。
A 第一期造成区画の東側上ノ林児玉線と霊園の自動車通路沿いの急勾配の土手と霊園の通路側の土手の改修工事。また、経年劣化が激しい北側のネットフェンスの改修工事をする。

公共土木施設災害復旧費132万5千円の内
Q 7月の豪雨で、町道森泉追分線の、のり面崩落や未舗装道路の路面洗掘などの小規模工事を8件実施している。また、今後の台風や豪雨などによる災害復旧に備えての補正である。